

施策番号	0602		
施策名	歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援		
概要	伝統文化等を継承するため、国内外のひとびとが京都の伝統的な文化芸術を体験する機会を提供するとともに、若手の芸術家等の育成等を行い、創造的な活動を新たに生み出す環境を整備する。		
担当局・部室	文化市民局・文化芸術都市推進室	共管局・部室	行財政局・総務部
上位政策	6 文化		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都文化芸術都市創生計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		24年度	25年度	26年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	芸術大学における修士課程及び博士課程への進学者数(人)	a	e	46	61	69	88.4%	c	1.00
2	伝統芸能等事業の入場者数(人)	e	d	6,315	6,750	9,042	74.7%	d	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		c	e	客観指標総合評価				d	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度回答					有効回答 者数	評価
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1	京都では、文化芸術にかかわる活動が盛んである。	150 28.7%	261 50.0%	87 16.7%	17 3.3%	7 1.3%	522	a
2	文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。	70 13.7%	216 42.2%	169 33.0%	41 8.0%	16 3.1%	512	b
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						a

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそれぞれ達成されている						
	重み付け	☒ 客観指標	d	☐ 市民の実感	a		
(重み付けの理由) 当該施策においては、施策の主な内容と客観指標とが端的に対応しているのに対し、市民の実感は他の文化芸術施策も包括した内容であるため、客観評価を重視する。						25年度	C
(原因分析) 【客観指標】●芸術大学における大学院進学者数については、毎年度の卒業生・修了生約280名一人一人の進路希望状況により変動するが、平成25年度は、「日本音楽研究専攻」の新設等により増加に転じたため、e→c評価に改善している。 ●伝統芸能等事業の入場者数については、d→d評価と低い評価が続いているものの、入場者数は増加した。依然として、市民寄席の会場のひとつであったロームシアター京都(京都会館)の休館による影響は大きい。平成25年度は薪能の開催日(固定日)が土日に当たったため、集客が増えたものと考えられる。 【市民の実感】伝統文化の継承や芸術系大学の集積といった京都の強みが反映された結果であり、いずれの設問においても昨年度に引き続きa又はb評価と評価が安定している。						24年度	B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		25年度 決算額	26年度 予算額		
1	文化芸術顕彰制度	5,429	5,471	良い	文化市民局
2	芸術文化協会交付金	26,791	27,824	かなり良い	文化市民局
3	文化芸術を鑑賞・体験する機会を創出するための取組	16,964	18,873	かなり良い	文化市民局
4	各種団体事業助成	22,028	23,210	かなり良い	文化市民局
5	芸術活動支援	77,846	76,304	良い	文化市民局
6	古典の日推進事業	14,193	14,039	良い	文化市民局
7	琳派四〇〇年記念事業	—	22,852	—	文化市民局
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

●芸術大学においては、一人一人の状況に応じた長期的支援を行うため、専門スタッフを配置しているキャリアアップセンターの活用等により、学習支援、進路支援、就職支援及び芸術家へのキャリアサポート等の総合的な取組を進める。
●引き続き伝統芸能事業等の広報・宣伝を図り、より多くの市民に伝統的な文化芸術を体験する機会を提供するとともに、京都を拠点に活動する若手芸術家に対し、既存の空き家や小学校跡地施設等を活用し、居住・制作・発表の場づくりといった幅広いサポートを実施するなど、大学等とも連携して、新たな創造活動の支援を図っていく。

施策名	0602	歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援				
-----	------	---------------------------	--	--	--	--

指標名	芸術大学における修士課程及び博士課程への進学者数（人）					
-----	-----------------------------	--	--	--	--	--

担当課	総務課		連絡先	2 2 2－3 0 4 5		
-----	-----	--	-----	---------------	--	--

1 指標の説明

京都市立芸術大学における①学部卒業生のうち修士課程に進学した者及び②修士課程修了者のうち博士課程へ進学した者の合計数（進学先には他大学を含む。）

2 指標の意味

京都で若い才能が育まれていることを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：学校基本調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	46	61	15人増	69	過去5年間（平成20～24年度）の最高値（平成23年度）	88.4%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考H20 56人、H21 56人
H22 63人、H23 69人
H24 46人

5 評価基準

最新の数値が、過去5年間の
a：最高値以上
b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上
c：上中間値未満～平均値以上
d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上
e：下中間値未満

6 基準説明

進学者数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較する必要があるため、過去5年間の数値をもとに、基準を設定した。
最高値：69（平成23年度）
平均値：58
最低値：46（平成24年度）

7 評価結果

24	25	26
a	e	c

1 指標の説明

伝統芸能等事業（市民狂言会、京都薪能、市民寄席）の入場者数

2 指標の意味

市民等が京都の伝統的な文化芸術を体験する機会を提供していることを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	6,315	6,750	435人増	9,042	過去5年間（平成20～24年度）の最高値（平成20年度）	74.7%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考H20 9,042人
H21 6,626人、H22 6,121人
H23 6,776人、H24 6,315人

5 評価基準

最新の数値が、過去5年間の
a：最高値以上
b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上
c：上中間値未満～平均値以上
d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上
e：下中間値未満

6 基準説明

入場数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較する必要があるため、過去5年間の数値をもとに、基準を設定した。
最高値：9,042（平成20年度）
平均値：6,976
最低値：6,121（平成22年度）

7 評価結果

24	25	26
e	d	d